

安齋肇初監督・みうらじゅん原作映画「変態だ」公開記念 仕事論、マイブーム、ボブ・ディラン、新作映画… 安齋肇 & みうらじゅんが若者にゆる〜く提言！

『未来授業』12月12日(月)～15日(木) 19:52～20:00 放送

『未来授業 SUNDAY CLASS』12月18日(日) 5:30～6:00 放送 ※総集編

日本が世界に誇る「知のフロントランナー」を講師に迎えて、未来を生き抜く智恵を探るプログラム「未来授業」では、12月12日(月)～15日(木)、18日(日)の放送回に、イラストレーターの安齋肇と、漫画家やイラストレーター“など”で活躍中のみうらじゅんを迎えます。みうらじゅんが原作で安齋肇が初めて監督をつとめた映画『変態だ』(12月10日公開)公開を前に、「仕事について」「マイブームについて」「ボブ・ディランについて」そして映画『変態だ』について、自由に語りました。未来を担う若者たちに、提言も？

12月12日(月)からの放送を、どうぞお楽しみに。

◆「人と違うことをやることに意味がある！」(安齋肇)



今どきの若い世代の仕事ぶりに感動した、というふたり。そんな話から話題は「仕事論」へ。「安齋さんは、わざと失敗を選んで仕事をしているときがあるよね」とみうらじゅんが問いかけると「人と同じことをやっても仕方ないんですよ。違うことをやることに意味がある！」と力説しました。さらに、「遅刻魔」として知られる安齋肇は、意外な持論を展開します。「コミュニケーションとしての“遅刻”」とは、一体…！？他にも金言が続出します。

◆「ボブ・ディランという、変化し続けるキャラクターこそが発明」(みうらじゅん)

ボブ・ディランフリークとして知られるみうらじゅんは、ボブ・ディランのノーベル賞受賞について「ロバート・アレン・ジマーマン(ボブ・ディランの本名)が、“ボブ・ディラン”という変化し続けるキャラクターを演じてきた」とし、ノーベル賞受賞理由を独自に分析します。

さらに、最新映画『変態だ』についても語りました。「変態、というのは、形態が変化していくさまのこと。変態していい方に転ぶか悪い方に転ぶかは、自分の中のロックが決めること」(みうらじゅん)「スピード感を大事に制作しました。結果、他の映画より短く仕上がっています(笑)」(安齋肇)

12月12日(月)からの4日間、さらに総集編を『未来授業 SUNDAY CLASS』で12月18日(日)5:30から放送します。どうぞご期待下さい。

《番組概要》

◇タイトル:『未来授業』(月～木)19:52～20:00 放送)

『未来授業 SUNDAY CLASS』(日 5:30～6:00 放送)

◇放送局:TOKYO FM

◇内容:TOKYO FMをはじめとするJFN38局が毎年開催している、大学生を対象としたインタラクティブ型公開授業「FMフェスティバル 未来授業～明日の日本人たちへ」のレギュラー番組。日本が世界に誇る「知のフロントランナー」を講師に迎え、未来の日本人たちへ送るアカデミックな授業をお届けします。

◇提供: NEC、川口技研 ◇ホームページ: <http://www.tfm.co.jp/podcasts/future>

【映画『変態だ』情報】

企画・原作・脚本みうらじゅん×初監督・安齋肇-サブカル界を代表する二人が仕掛けた青春ロックポルノムービー！

一浪の末、都内の二流大学に進学した男(前野健太)。特別な才能があるわけでもない普通の男は、偶然入ることになったロック研究会でのバンド活動を契機にミュージシャンとしての道を歩みだす。

やがて結婚し、妻(白石茉莉奈)と生まれたばかりとの、ごくごく普通の家族生活を送っているが、実は学生時代から続く妻以外の女・薫子(月船さらら)との愛人関係を断てずにいた…。

配給:松竹ブロードキャスティング アーク・フィルムズ

12月10日(土)より新宿ピカデリー他、全国順次公開(R-18)

オフィシャルサイト: <http://hentaida.jp>



©松竹ブロードキャスティング